

専修法学論集

佐藤恭三教授 退職記念号

第 123 号 2015 年 3 月

献呈の辞	白藤 博行
《論説》	
法と主体の問題—川島武宜『日本人の法意識』再読—	上原 正博 (1)
イタリア社会保障における「給付の自動性」の原則	小島 晴洋 (25)
序論—カントの演繹的行為規範学(8).....	坂本 武憲 (53)
哲学から政治へ：大戦とハンナ・アレント	
—ハイデガーと啓蒙思想とユダヤ軍—	高橋 勇夫 (127)
M. ウェーバーの「法の形式的合理性」概念の位置について	広渡 清吾 (153)
韓国著作権委員会	矢澤 昇治 (209)
犯罪被害者と時代に即した新たな刑事司法の	
構築の在り方の予備的検討	滝沢 誠 (233)
武力紛争における人権条約の域外適用可能性	高嶋 陽子 (253)
共和主義と憲法文化—憲法愛国主義論の検討を端緒として—	松村 芳明 (283)
《研究ノート》	
戦後青森県政治史序説—④(1957年～1960年)	藤本 一美 (317)
《翻訳》	
韓国国際仲裁規則—韓国国際商事仲裁協会—	矢澤 昇治 (349)
《資料》	
民事訴訟法判例撰集 I (明治期～昭和40年代) (4)	小野寺 忍 (381)
《論説》	
イデオロギーとテロル(五)	
—共産主義の全体主義独裁制における恐怖と狂気のシンフォニー—	小沼 堅司 (1)
佐藤恭三教授 履歴・業績	(399)

専修大学法学会